

課題推進チーム 環境とは!?

パルシステム山梨の「組合員」「理事」「職員」が、環境について情報収集し、発信する活動をしているチームです。

2022年度のテーマは『ごみを減らすと地球の熱が下がる?!』

地球温暖化は喫緊の課題です。その原因である温室効果ガスを少しでも減らす暮らし方について、ごみをキーワードと一緒に考えていきます。

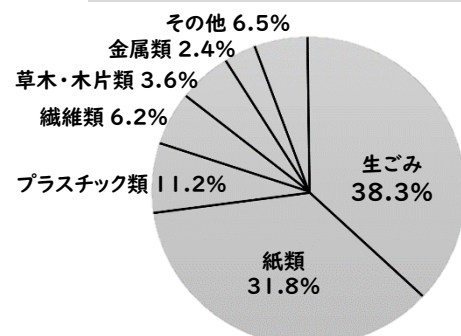
まずは、ごみ削減に取り組もう! (理事:河野靖子)

南アルプス市在住、理事6年目になります。環境委員会にも所属しておりますので、委員会で何か共有出来れば良いなあと思っています。

正直に言うと、「ごみを減らすと地球の熱が下がる?!」は言い過ぎです。しかし、環境への配慮が法律で厳しく求められている企業に比べ、家庭には努力する余地が、意外とたくさん残っています。そこで注目したのがごみです。水分を80%も含むごみは、焼却処理にあたって温暖化効果が高いCO₂を大量に発生させます。1トンのごみを燃焼させるのに、環境省の計算によると512,000kcalの熱量が必要となります(灯油に換算すると58.4リットル分)。熱損失や、実際の焼却炉では800℃以上の高温を保たなければならないことなどを考慮するともっと多くの熱量が必要になり、CO₂大量発生の原因になっています。環境団体「みずうみ」(富士河口湖町)では「片手で絞って1億円、両手で絞って3億円!」を合言葉に、ごみの水切りの提案を呼びかけています。ごみの水切りをすれば焼却のための燃料費が減らせるだけでなく、焼却炉の損傷を遅らせて長持ちさせられる、という発想からつくられたキャッチフレーズで、ダイレクトにお金に換算することで訴求力を強めています。また、ごみや落ち葉などの有機物を、微生物の働きで発酵・分解させ堆肥化することでごみを資源に変えよう、と人気が高まっているのがコンポスト。そのものずばり、

「堆肥」という意味です。ごみが資源に変わるだけでなく、ごみ出しのビニール袋が不要になる、収集日まで保管しなくて済むので悪臭や虫に悩まされないというメリットもあります。家庭菜園やガーデニングが好きな人は、ごみ処理のためというよりも堆肥が欲しくてコンポストを続けている人もいます。上手に処理して、ごみを資源に変える暮らしをしてみませんか?

『燃やすごみ』の組成(平成30年度)



京都市食品ロスゼロプロジェクト公式サイトより

2022年度 メンバー紹介 & 生ごみ処理について

今年度の環境チームは、「生ごみ削減」に着目しました。その理由は・・・

各家庭から出される「生ごみ」には、水分が含まれており、焼却処理をする際に多くの温室効果ガスを排出しています。「生ごみ削減」の為に私たちに出来ることは何があるのでしょうか。エコパル山梨ごみ0係ニュース vol.1 は「生ごみ」について発信します。裏面にはアンケートがあります。ぜひ皆さまのご協力をお願いします。

生ごみ処理機を使っています (I・Kさん)

私は、中央市在住、家族は夫と犬、課題推進は4年目です。無理をせず、楽しくエコな生活ができればと思っています。

20年近く前に生ごみ処理機を購入しました。本当はコンポストを庭に置きたかったのですが、義母に反対されて断念。その頃は5人家族で多量に出る生ごみ(スイカの皮等)に悩まされていたので、生ごみ処理機購入を検討。生ごみ処理機は主に2種類、風をかけて乾燥させる乾燥式と、微生物がごみを水とガスに分解するバイオ式があります(現在はハイブリットもあるとか)。また、キッチンに置けるタイプと屋外に置くタイプがあり、価格も様々。処理速度は乾燥式の方が早いです。常時モーター音がします。電気代も乾燥式の方がかかります。私が購入したのは、乾燥式で屋内屋外両方に置けるタイプ。中に刃がついていてカットもしてくれます。感覚的には生ごみの容積は1/5に減量。市指定のごみ袋購入も大幅に減少しました。家庭から出るごみで一番多いのが生ごみ、生ごみの80~90%が水分と言われています。コンポストが置けない方、生ごみ処理機を使うのも減量方法の一つかもしれませんね。

生ごみ堆肥で土づくり サステナブルライフ実践中 (H・Kさん)

韮崎市在住、組合員歴19年になります。課題推進チームには初めて参加します。現在、3人家族ですが、生ごみが出ない日はありません。朝食、弁当作りから近年はコロナ禍で外食をしなくなり夕食も毎日調理します。食べ残しはしませんので、生ごみの多くは野菜くずと果物の皮。これらは庭のコンポストで堆肥化して家庭菜園で使用しています。10年前から始めた野菜作り、今では約30種類の野菜を自己流有機栽培で育てています。採りたて新鮮野菜と芋類等の備蓄野菜がいつでも豊富にある幸せと安心感は、土まみれになって農作業するご褒美だと感じています。その野菜くずは、また堆肥となって野菜を作ってくれます。

近年は自治体による生ごみ処理機購入補助金制度が充実しています。まだ活用されていない方は、ご検討してみたいかがでしょうか。

夏休みは、子どもたちと楽しみながら生ごみ減量に挑戦！ (K・Aさん)

課題推進チーム初参加のKです。西桂センター所属、3人の子育て真っ最中です。こどもたちに明るい未来をのこすため、環境に対して何かしたいと思いながら、日々の生活に追われていました。小さなことから始められればと、参加させていただいています。生ごみの含水率は80%程度、燃やすのに多くのエネルギーを要します。いかに乾燥させるか、また生ごみになってしまう食品自体をどう減らすか、日々思案中です。段ボールを使って簡単に作れるコンポストなど手軽にできるアイデアも検索すればたくさん出てきます。この夏は子どもたちとワイワイ楽しく、生ごみ処理に取り組んでいきたいと思っています。

食品ロス=生ごみ、が悩みの種 (職員:長田浩和)

南アルプス市在住の長田です。家のごみ出し係を担当しています。紙やプラ、様々分別が進むにつれ、可燃ごみの日の「生ごみ」の存在感が徐々に増している気がします…(重い)。食べ残しは特にカラスの標的になり、集積場所が荒された様子も度々。冷蔵庫の中の食品の日付を確認したり、気をつけてもいますが、貰いものの果物とか、家族数も多くないので食べきれないものなど…。何か減らせる上手い方法があれば、と悩んでいます。

土中の微生物が生ごみを分解してくれる (理事:賀川一枝)

東京から都留市の山中に移住して、はや17年。東京では生ごみは三角コーナーで水切り後、燃えるごみに。下水処理に莫大なエネルギーがかかると知ってから、排水に気を遣い、米のとき汁は植木に、ラーメンや煮物の残り汁も排水溝に流さないようにしていました。現在は、分解が進む黒色のコンポストが大活躍。今年はなんと、ミニトマトがコンポストから発芽しました！

生ごみ処理機をベランダに設置したい！ (理事:小林真紀)

富士河口湖町に住んでいる小林真紀です。組合員理事2年目、環境チーム2年目になりました。野菜のヘタ取りや皮むきは最小限で料理したり、水分をなるべく含ませないようにしているものの、生ごみは燃やすごみとして出しています。最近このチームで学ぶうち、あまりお金をかけず手軽にベランダで処理できる方法もあるらしいと知り、ワクワクしながら調査中です。コンポストが置ける庭が欲しい！

家庭菜園にコンポスト導入を検討中 (職員:猿渡好道)

甲府市在住の猿渡です。課題推進1年目です。生ごみ処理に関してまだまだ知識のない私ですが、最近「家庭菜園」を始めたばかりです。環境のことを考え、生ごみを堆肥にするためコンポストの設置計画をしています。まずは自分ができる第一歩を踏み出したいと思っています。通信を通して環境についてさらに気付いていきましょう！

生ごみ処理のアイデアを募集しています。生ごみや生ごみの水分を減らすグッドアイデアをお寄せください。アンケート結果は、次号の通信などに掲載させていただきますので、ご承知おきください。(掲載不可の方は、明記ください)。応募された方の中から抽選で5名の方に紙パック容器の「地球の未来にまじめなボディソープ」をプレゼントいたします！(抽選結果は配送便でのプレゼント発送をもってかえさせていただきます)



※アンケートは下記「キリトリ」用紙、または左の「2次元コード」のアンケートフォームからお送りください。どちらでも大歓迎です！アンケートフォームからお送りいただく場合は、「エコパル山梨ごみ0係ニュースアンケート」をご選択ください。



イメージ

※キリトリ※

氏名： 組合員番号： 【切日:9月9日(金)】

連絡先： [コメント掲載がNGの方はOで囲んでください⇒ NG]

■生ごみ処理機を使っていますか？

・はい ・いいえ

「はい」の方、どのようなタイプの生ごみ処理機ですか？(例:乾燥式)

■コンポストを使っていますか？

・はい ・いいえ

「はい」の方、どのようなタイプのコンポストですか？(例:設置型)

■生ごみ処理やごみ減量のアイデアを教えてください。

■通信のご感想、ご意見、メンバーへのメッセージ等がありましたらご記入ください。

お問合せ先:パルシステム山梨本部 yamanashi-katudou@pal.or.jp 055-243-6327 長田・猿渡